

市民活動ニュース

第80号

2007年12月

伊賀・加太の市民活動グループを訪問

秋晴れの11月7日、各地の市民活動のグループを訪ねる市民活動交流会が開催され、応募された希望者約30名が伊賀市の「町家みらいセンター」と加太の「鹿伏兎山脈グループ」へ出かけました。

伊賀の「上野市」として呼びなれた名称も合併により「伊賀市」となりました。美しい町並みは小京都といわれるように上野城を中心に昔のまま残され維持されていました。亀山から近く何度か来たことのある場所ですが、そのたびに新たな発見もあり、皆さんにお勧めの町です。

それから、加太に移動し森林パークで暖かい秋の日差しを浴びながら昼食をとりました。「鹿伏兎山脈グループ」の皆さんの手作りで「みえの安心食材」の認定を受けた「ひらたけ」のきのこ汁と自然薯のふるまいもあり、いまでも田舎に残る「もてなしの心」のよさを実感しました。自然薯の畑は昨年より約3倍と更に拡大し、寒暖の差が大きい加太地区の特性を活かした新しい産物になろうとしています。ささやかなビジネスも兼ねながら高齢者の生きがいを得る場として「鹿伏兎山脈グループ」は新しいタイプの市民活動として注目を集めています。



ようこそ伊賀市
町家みらいセンターへ



時代を感じるたたずまいです。

第3セクターで運営される忍者電車



加太は寒暖差が大きく、自然薯の栽培に適して...
(後方は自然薯畑)

加太の森は亀山の水源でもあります。





市民交流の日 レポート 11月21日(水) 19:30~ 市民協働センター

テーマ 「長寿社会に生きる私たちに何ができるか」

アドバイザー: 松尾みち子さん 保健福祉部健康推進室 地域包括支援センター長

地域包括支援センターは、高齢者の方を住みなれた地域で包括的に支援しようと設置され、あひあひの4番窓口で相談を受け付けている。

高齢者虐待防止法に関する相談など、今まで表に出なかった内容の相談が多くなった。

高齢者は人口は、2025年がピークになると予想されている。亀山市は、65歳以上が10,476人、高齢化率が21%の割合となっているが、介護保険の認定者は15%で三重県平均より少し低い。現在、徐々に要支援者が増加しているが、寝たきりにならないようにしたい。

要介護者の8割以上が在宅で、ヘルパーは、家事を中心とした生活援助と身体介護を行うが、掃除については、普段使っている部屋が対象で草むしりや仏壇みがきはできない。このため、ボランティアの力が必要になってくる。

少子高齢化、核家族の時代であるが、家族が近くに居るとよいと思う。また、選択できる施設も多くなってきたので元気なうちに施設を下見しておくのも大切なこと。

老後にはお金がいる。そのため最低限の貯蓄はしておいた方がいいと思う。

とにかく健康で元気に長生きしてほしい。90歳位まで元気である人は寝込まずぽっくりと逝く人が多い。そのためには、役を降りたらだめ、自分の役割をもつことが大事

話し合い「私たちに何ができるか？」

介護保険制度の必要性

- ・43歳だが介護保険は自分のためだと思う。
- ・自分が親を見るためにも必要。
- ・無かった時代を経験したのにとって介護保険はいいと思う。
- ・家庭崩壊を防ぐためにも介護保険は必要。



家族・地域の絆

- ・昔は地域でできていた。
- ・地域通貨でどうか？
- ・コミュニケーションにもなる。
- ・子どもと親の絆から始めないと、むちゃくちゃになる。
- ・あなたのためにしたいと思えるよう感謝の態度も必要
- ・独りで住んでいる高齢者の話し相手が必要では。
- ・地域大家族主義が理想だと思う。
- ・向う3軒両隣条例とか。市からの情報は出ないから地域でつくればいい。
- ・3世代世帯の子どもは地域と、とけこみ易い。
- ・声かけなどボランティアでもできる。
- ・孤独老人の世帯地図を自分で作って持つのがいい。
- ・50年後といわず今の親がしっかりしないとだめ

課題、問題点

- ・62歳で寝たきりになった事例もある。
- ・いろんな事例で、政府が見直さないと抜け穴がある。
- ・介護保険を権利意識で「もらわないと」となるかも。
- ・介護保険を利用すると自分がみなくてもいいと考える人もいる。
- ・ワーキングプワも多いい時代だ。国もあてにできない時代
- ・動けない人を連続して地域では見れない。
- ・利用しなきゃ損では困る。
- ・どうしても必要なときにいる。
- ・家に閉じこもりが問題
- ・介護を受ける側の態度も問題
- ・人とのコミュニケーションは必要
- ・独り暮らしを公開するのは防犯上問題がある。
- ・趣味の会にも体力的に出られない、引きこもりになる。
- ・人と付き合いたくない人をどうするか。

次回、12月21日のテーマは、「もっと知ろう 長寿社会」です。是非、ご参加ください。



健康づくりは歩くことから

秋晴れの空のした、「健康づくりは歩くこと」を実践する「亀山あるこうかい」の催しが11月25日に開催されました。参加者は5歳の女の子を含む約60名

亀山駅前から出発し南部丘陵地帯を横切る金王道(こんのみち)へ。鈴鹿川のほとりの生田理左衛門の遺跡を見て、和賀から天神の観音山で昼食タイム。紅葉を楽しみながら荒れてはいるけど今でも道形が残る金王道。歴史ある道を踏みしめ約10kmの歩行の後、文化会館で開催中の市民交流祭会場に到着し、終盤ながらも楽しみました。

宅地等の開発により各所で分断されている金王道ですが、まだ往時をしのぶことができます。是非多くの皆さんに歩いていただき歴史ある間道を残しましょう。



鈴鹿川の堤防北側、ここも素敵な散歩道です。



金王道をコースに選び下見に行ったら、道は草ぼうぼうクモの巣だらけ。足元には太い倒木が横たわり、とても皆さんに安全に歩いてもらえる状況ではありませんでした。そこでボランティアの方に倒木の撤去等を、お手伝いしていただきました。誰も歩かないと古道は自然に振り返り消えていきます。散歩やハイキングにぜひ歩いてみてください。
 亀山あるこうかい スタッフ 伊藤

近江八幡のまちづくりをユーモアたっぷりに 元近江八幡市長、川端氏のまちづくり講演会

琵琶湖の東岸に位置する近江八幡市は水郷の町でもあります。ここのシンボルでもある八幡堀の復活に取り組んだ元市長川端五兵衛氏による講演を市民協働センターで開催しました。話術巧みに過去の経過や関係役所との折衝などを話され、時間の経つのも忘れるほどでした。印象に残ったプレゼンテーションを紹介します。



まちづくりとは身銭を切ること

1. お金のある人はお金を出してください。
 2. 体力のある人は労力を出してください。
 3. 知恵のある人は知恵を出してください。
 4. どれも難しいという人は祈ってください。
- 「このまちが、いいまちになりますように」と。



あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体の代表者の方に市民活動を始めたきっかけや、これから活動を始める方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今回は、関宿スケッチコンクール実行委員会代表 森 敏子 さんです。

「町並みを描く…やすらぎを描く…風を感じて歴史を描く…
関宿を描く」

今年で第3回を迎えた「関宿スケッチコンクール」は先日(10月7日)、たくさんの参加者を得て、無事終了いたしました。

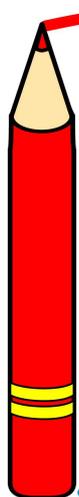
東海道五十三次の宿場町として栄えた関宿。現在は、重要伝統的建造物群保存地区(国文化財)に選定され、美しい町並みが多くの人々の努力で大切に守られています。

私は、以前からこの町並みに魅かれて、時々スケッチを楽しんでいました。西に鈴鹿の山なみ、往時のおもかげが漂う連なった家並み、寺院、小さな路地、どこを切りとっても絵心がかき立てられる風景が広がっています。

軒先をかりて、スケッチをしていますと、同じようにスケッチブックを開いて書いてみえる人たちに時々出会いました。お互いに「関宿っていいですね」「どこも絵になりますよね」「この町並みでスケッチコンクールを催せば、絵の好きな人たちが、たくさん参加してくださるので…」と、スケッチコンクールの開催を思いつきました。

幸い私は15年程前、三重県の「文化の風おこし塾」に参加した経験があり、北勢地区で文化創造を目的にさまざまな活動を行ってきた仲間たちに恵まれていました。さっそく、そのグループを中心に実行委員会を立ち上げ、2005年10月の第1日曜日に第1回目のコンクールを催しました。何と200余名の絵を愛する人たちが各地から画材をたずさえて駆けつけて下さいました。遠くは、滋賀、奈良、愛知など県外の人たちの参加も多く、実行委員は大感激でした。町のあちこちでイーゼルを立て、水彩やパステルで指を汚しながら、熱心に描いてみえる参加者のまわりを町の人たちや観光客が取り囲んで眺めている光景を、秋の穏やかな光があたたかく照らしていました。コンクールですので、厳正な審査の後、受賞者発表図録の作成、展覧会の開催等、行政と協働しながら、美術文化の振興を町並み保存の意識の高揚を目的に開催しているこのコンクールに、ぜひみなさまもご参加下さい。

来年も10月の第1日曜日に開催いたします。



第3回関宿スケッチコンクール作品展
入賞、入選作品54点を展示いたします。

2008年1月15日(火)~28日(月)

午前9:00~午後10:00

亀山市市民協働センター 1階多目的ホール





私たちのまちの企業

企業との協働を一層推進するために、「企業の社会貢献活動」や「企業が行政と協働してまちづくりに参画している様子」などをご紹介します。

今月は亀山の代表的なショッピングセンター「エコータウン」の取り組みについて、販売促進部の伊藤課長に語っていただきました。



エコーは昭和51年（1976年）のオープン以来、今年で創業31年を迎えました。地域のお客様に「安心」「安全」「便利」をコンセプトに衣・食・住・遊の必需品を取り揃え「エコーがあって本当に良かった」と思っていただけのようなショッピングセンターづくりを今後も目指しています。

また、創業30年を機に正面多目的ホール（30坪）を市民の趣味・サークルの活動発表や交流の場として無料で活用され昨年は計21回の発表・展示会などが開催されました。

今後も亀山市民の文化交流の場としてまちづくりに貢献していきます。

市内には趣味のサークルや生涯学習のグループなどで活躍されている方々が大勢みえると思います。ぜひお気軽にご利用ください。



正面ホール

国際交流の
イベント
(昨年9月)



昨年1年の正面ホールご利用状況

- 4月 増村書道教室作品展示会
- 6月 デイサービス「はなの家」作品発表会
押花サークル作品発表会
- 7月 鈴鹿川流木の会作品発表会
- 8月 日本画作品発表会（秀雅会）
「市橋隆雄さんを支える会」活動報告会
陶器 作品展（映彩会）
- 9月 陶芸作品展（市民サークルA）
KIFA亀山国際交流の会 活動報告会
- 10月 いけばな展（小原流）
パッチワーク・ツールペイント作品展
盆栽展示会（亀山盆栽愛好会）
不用品即売会（亀山婦人会）
押花サークル作品発表会
- 11月 日本画作品発表会（観水会）
日本画作品発表会（亀芳会）
スタンドグラス作品展
- 1月 安藤書道教室作品展示会
- 2月 福井書道教室作品展示会
鈴亀障がい児童作品展示会
- 3月 柴田書道教室作品展示会

エコー（echo）とは、こだまの意
市民の皆様といつまでもよき関係が、こだまのように響き続けますようにとの願いを込めて名付けました。

519-0124 亀山市東御幸町222番地
電話 0595-82-1145 FAX 82-1125
ホームページ
<http://www.za.ztv.ne.jp/kameyama-echo>



12月の市民交流の日「きらめき亀山21」

日時：12月21日(金) 19:30～21:30
場所：市民協働センター 申込み不要
テーマ：「もっと知ろう 長寿社会」
アドバイス：保健福祉部健康推進室



第8回市民交流会 来年2月24日(日)

場所：中部中学校

テーマは「みんなでつくろう安心安全な亀山」
～一人ひとりが今できること～
【分科会テーマ】

- 1.明日くるかも?大地震!!
- 2.安心な食べ物を食べるには
- 3.子どもを悪から守るには
- 4.高齢者の安心とは



- 地震体験車による地震体験や非常食の試食などもあります。
- 過去の災害を体験された方のパネル展示をします。
- 安心・安全なまちづくりについて、様々な視点から話し合いを行います。
～年に一度の交流会です。

安心・安全な亀山にするために自分が今できることは何か

みんなで話し合みましょう～

(市民交流会実行委員会)



過去の災害の記録を募集します！

～今、伝えよう、市民の語る災害の記録～

市民交流会では、過去の教訓を次の世代に伝えるため、災害の記録を募集します。
あなたの忘れられない災害の情景を絵に描いてみたり、写真を公開しませんか？
○募集要領等は、12月16日号の市広報をご覧ください。

市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています。

詳しくは、市民参画協働室 (Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@City.Kameyama.mie.jp)
又は、市民協働センター (東町一丁目8番7号 旧百五銀行亀山支店跡 Tel.84-5800 Fax.84-5801、
Email: mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp) へご連絡ください。

編集作成：「きらめき亀山21」広報部 (問い合わせ先：亀山市民部市民参画協働室 0595-84-5008)
〒519-0195 三重県亀山市民部本丸町577番地 FAX 0595-82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp
この月刊新聞はこちらにもあります。【毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子唄会館・老人福祉センター・健康づくり関センター・関B&G海洋センター・中央公民館・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・市民のショップねこの館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)】ホームページ
<http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>